

2009年5月12日

環境省総合環境政策局長 小林 光 様

日本鳥学会事務局長 西海 功

日本鳥学会鳥類保護委員長 早矢仕 有子

衆議院環境委員会における環境省総合環境政策局長の答弁に関する意見と要望

平素から日本産鳥類の保護にご理解をいただき感謝申し上げます。

日本鳥学会は希少鳥類保全の観点から、上関原子力発電所建設計画に強い関心を抱いております。2008年9月14日に開催された総会においては、「上関原子力発電所建設計画に係る希少鳥類保護に関する要望書」を決議し、中国電力株式会社に対しカンムリウミスズメに関する詳細な生息状況調査を実施し調査結果を開示するとともに調査結果に基づいて環境影響評価を行うこと、および指導官庁に対し適正な指導を求め環境大臣宛にも要望書を送付させていただいております（別紙資料1）。

その経緯から、2009年4月14日の衆議院環境委員会における小林 光 環境省総合環境政策局長の田島 一成（民主党・無所属クラブ）議員の質疑に対する答弁すなわち「カンムリウミスズメにつきましては、**日本鳥学会等々の御参画も得まして**、去年の五月から八月、そして四回にわたりまして、周辺の海面での実際のカンムリウミスズメの存在状況といったことの調査、それから営巣地に適するような場所が現にあるかどうか、そして、そういうところで営巣の実績があるのかといったようなこと、大変特殊な生態の鳥だというふうに聞いておりますけれども、そういったことの調査が既にされておまして、現在のところ、ここに繁殖地があるというような兆候は見られないというような情報をいただいているというふうに承知はしてございます。（衆議院環境委員会 会議録より抜粋）」に私たちは驚きました。中国電力株式会社が「上関原子力発電所計画地点におけるカンムリウミスズメ生息状況調査結果報告書（平成20年9月）」作成に際し、当学会員個人の協力を得たことは私たちも承知しておりますが、会員個人の活動や意見は学会のそれとは異なります。**日本鳥学会が上関原子力発電所建設計画に関わる中国電力株式会社の調査に参画した事実はなく、それとは逆にその調査が不十分であることを学会としては総会決議などを通して指摘してきました。**事実誤認に基づいた発言が動画および議事録により広く公開され、日本鳥学会がその調査にお墨付きを与えているかのような誤解を流布させていることは誠に遺憾です。

つきましては、本件に関し、**小林 光 環境省総合環境政策局長にご認識を改めていただくと共に、事実誤認に基づいた発言を撤回し、衆議院環境委員会会議録を修正いただくこ**

**とを要望させていただきます。**

なお、日本鳥学会の上関原子力発電所建設計画に対する考え方を再認識いただくため以下の資料を添えましたのでご参照の上、今後も引き続き中国電力株式会社による調査を注視し、十分に監督・指導いただくことも併せてお願い申し上げます。

資料 1. 2008 年度日本鳥学会総会決議「上関原子力発電所建設計画に係る希少鳥類保護に関する要望書」(2008 年 9 月 14 日)

資料 2. 日本鳥学会鳥類保護委員会「中国電力株式会社(平成 20 年 9 月)『上関原子力発電所計画地点におけるカンムリウミスズメ生息状況調査結果報告書』に対する鳥類保護委員会からの評価」(2009 年 2 月 25 日)

(以上)